

国語 第5学年 どちらを選びますか 検討会の想定問答

指摘 1：この単元で身に付けることは何か。

返し：選ぶ立場と判断の理由を示し、異なる意見と比べて考えを広げる。多数決の勝敗ではなく、理由を検討して変える過程を見る。A(1)オの学習として、選択、判断の基準、理由、相手の理由を聞いた後の考えと変更理由。

指摘 2：何をもって学習できたと判断するか。

返し：おおむね満足できる状況は、立場や意図を明らかにして話し合い、理由を比べながら考えを広げたりまとめたりしているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。A(1)オの姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3：活動が楽しいだけで終わらないか。

返し：選択、判断の基準、理由、相手の理由を聞いた後の考えと変更理由を残す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、A(1)オに関わる学習の中身を確認する。

指摘 4：つまり児童にはどんな支援をするか。

返し：結論だけを言い合う、立場を変えることを負けと考える。これに対して、実際の購入を伴わない架空の選択場面を教師が用意する。判断の基準と理由を別々に記録し、相手の理由を言い換えて確かめてから自分の考えを述べる。〔知識及び技能〕(1)オとA(1)オを切り離さず扱う。

指摘 5：考えが違ったときはどう扱うか。

返し：教師の結論を選ばせず、「何を大事にして選びましたか。相手の理由を聞くと、考えはどう変わりますか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、A(1)オに関わる根拠を話し合う。

指摘 6：本時の評価で態度まで決められるか。

返し：本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7：端末がない学級でもできるか。

返し：選択、判断の基準、理由、相手の理由を聞いた後の考えと変更理由は紙に記録できる。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をA(1)オの評価の代わりにしない。

指摘 8：時間が足りないとき、どこを残すか。

返し：総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。A(1)オで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9：この教材で、誤りやすい点をどう確かめるか。

返し：結論だけを言い合う、立場を変えることを負けと考える。実際の購入を伴わない架空の選択場面を教師が用意する。判断の基準と理由を別々に記録し、相手の理由を言い換えて確かめてから自分の考えを述べる。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「何を大事にして選びましたか。相手の理由を聞くと、考えはどう変わりますか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。A(1)オに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

